



だより



R7.12.23 Vol.33

二学期も終わりますね

1年で一番長い2学期も気が付くと、もう終わりが間近です。子供たちにとって今学期はどんな学期になったでしょうか？始まりの9月、昨年までは残暑厳しい中、運動会練習に取り組んでいましたが、運動会が春になったことで、今学期は比較的楽に学習に取り組める環境だったと思います。そんな中、3年生は「かけ算の筆算」の学習を前に九九の復習に頑張って取り組みました。ある男の子は、少し苦手意識があったようですが、一生懸命取り組み、正解したときの恥ずかしいようなそれでいて嬉しそうな笑顔はとても印象的でした。しんどくても頑張る良い経験ができたのではないでしょうか？

10月の陸上記録会では男女ともにリレー入賞を果たしました。この規模の学校が男女とも入賞をするという結果は素晴らしいことだと私は思います。また11月、5.6年生が出演した市内音楽発表会での演奏！「真穴がよかったです！」そういう声をたくさんの人からいただきました。

中休みや昼休みも自主練習に取り組んでいた成果でしょう。ずいぶんと成長した1年生。担任が「書く」という指導に重点を置いて取り組んでいます。1年生の子たちは書くことが大好きになっています。担任の真摯な取組が子供たちに学ぶ喜びを感じさせている気がします。どの学年もそれぞれの先生方がそれぞれの持ち味を生かして子供と接し、子供たちもまたそれに応えて一生懸命、活動に取り組んでいます。



この雰囲気を3学期にもつなげていきたいと思います。皆様！良いお年を！

四方山話真穴 ver2. 其の三十三(昭和ですが何か?)

雑誌だったでしょうか、ネット記事だったでしょうか。「平成レトロの品々！」そんな文言が目に飛び込んできました。昭和レトロと言われ始めた時も軽くショックを受けましたが、つい最近の平成までレトロになるのか？時代よ！もう少しゆっくり行こうぜ！そんな気持ちになりました。しかし若者たちの間で今、そのレトロがブームらしいです。「昔は良かった！」は年寄りの決まり文句ですが、令和の若者たちも、ものすごい速さで変わる現代社会の中、もしかしたら古き時代に変わらない良さを感じているのかもしれませんね。

さて先日、校内の回覧板で「上司のこんな言葉が部下のやる気を半減させる！」そんな記事が回りました。チェックリストがあったので、チェックしてみると…。がへん！やる気を半減させる上司でした！(泣)その日以来、職員との会話が少なくなりました。(笑)しかし！しかしですよ！言い訳かもしれません(言い訳ですが…笑)令和であろうと平成であろうと昭和であろうと、なんなら明治・大正であろうと、大切なものは何も変わらないと思うんです。変わっているのはその捉え方。SNS全盛の今、揚げ足をとったり、無責任な正義をふりかざしたりする輩が少なからずおり、無難な表現、伝え方が良しとされている気がしてなりません。相手が傷つかない言葉選びは実は、自分を守るための言葉選びのような気がします。相手を傷つけようと言っているのではありません。相手(子供)を大切にする気持ちが根底にあればそんなに神経質になる必要はない！と私は思っています。逆に今使われている丁寧過ぎる言葉を聞くと背中がかゆいようなこそばいのような。(伝わりますかね～汗)

昭和世代の表現は否定されがちな令和ですが、昭和には昭和の良さがあり、何より温かかった！そう思います！昭和生まれとして胸を張って言います。「昭和ですが何か？」(笑)素敵なクリスマスを！

切り取り線